



学校だより

令和3年 4月30日

横浜市立榎が丘小学校

～豊かにかかわり合い、しっかり学ぶ、心身ともに健やかなえのきの子～

TEL 045(983)1067 FAX 045(983)5284

HPアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/enokiigaoka/>



推し量る力

校長 仲川 美世子

我が家ではトイプードルとマルチーズのミックス犬を飼っています。犬というのは本当に人間に対して従順で、呼べばこたえるし、指示を聞き分け、こちらに合わせた動きもできます。我が家の犬は、ロープのおもちゃを投げてもらって取ってくる遊びが大好きで、あきれほど繰り返します。飼い主のほう根気よく、本人（本犬？）が疲れるまで付き合わねばならないこともあります。そうはいっても、犬の存在がこちらに与えてくれるものは遊びにつき合うぐらいの対価に余りあるものがあり、帰ってくると尻尾を振って迎えてくれたり、抱きしめたときの温もりであったりするとその癒し効果については、生き物を飼ったことがある方には説明の必要はないでしょう。

さて、その犬についてですが、犬という生き物は人類と太古の昔から共生してきたこともあり、人について非常によく理解することができるのだそうです。直接的な指示はもちろんのこと、視線や表情を読み取り、飼い主がどうしてほしいのか、どういう気持ちなのか理解することができるのだそうです。最近では、飼い主がストレスを感じていると同じようにストレスを感じたり、リラックスしているとやはり同じようにリラックスしたりと情動が伝染することがわかってきているそうです。我が家の場合は、犬が先にリラックスしてくれるとこちらもリラックスできるような気もしますが、私の気持ちを読み取ろうとしているような、目で訴えてきているような表情をしていることがある気もします。

ということで、犬は一生懸命飼い主の気持ちに浴おうとしてくれるようですが、人と人との関係においてはなかなか相手の気持ちに浴おうというのは簡単ではありません。それぞれが独立した考えを持っており、感じ方もするわけで、自分以外の人の感情を思い通りにコントロールすることはできるものではありません。だからこそコミュニケーションを取ることがとても大切であり、その方法は直接の言葉であっても書いた文章であっても、時には顔に出すことであってもよいと思いますが、伝えようとするのと、それを理解しようとするとの両方の努力が大切であると思います。学校のように大勢が暮らす環境においては、「自分はこう思っているんだよ、こうしたいんだよ」と伝えようとするのと、そしてその思いを、「自分とは違うけど、そういう考えもあるんだな」と受け止めることや、場合によっては、伝えられずにいるところを、「きっとこういうことが言いたいんだ」と推量することも必要になることがあります。

教室を回っていると、手を挙げたけれどなんて言いたかったか忘れてしまう子や途中で言いたいことがうまく言えなくなってしまう子、なかなか大きい声では話せない子に一生懸命耳を向けて聴こうとしたり、何が言いたいか理解しようとしていたりしている子どもの姿を見かけることがあります。相手の気持ちや考えを推し量る力、大切に育てていきたいものです。

